

ムンプス（おたふくかぜ） ワクチン

ムンプス（流行性耳下腺炎）は、**こども時代に聴力を失う主要原因**のひとつ

●ムンプス難聴は一側性のことが多いが**聴力損失は重症**であり**改善しにくい**
好発年齢が**5～9歳**であるため、難聴の発症を見落とされてしまうことも少なくない（下グラフ）

●ムンプス難聴の頻度は、**低くない**

一側性：350人に1人

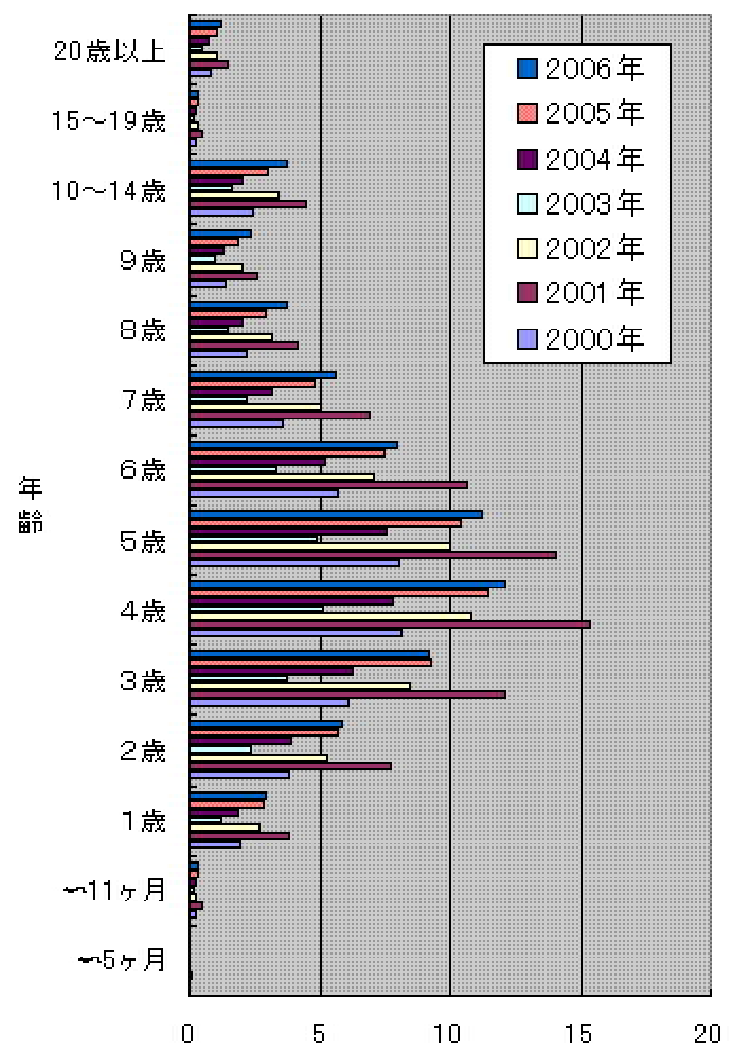
両側性：1～2万人に1人

ムンプスウイルスは、耳下腺・唾液腺・膵臓・
睾丸・卵巣といった腺組織および髄膜に炎症を
起こします。

耳下腺炎は、もっとも典型的な症状で、感染し
た人の30-40%に出現します。つまり不顕性感
染も多いのです。

思春期後の男性では、最も多い合併症は、睾丸
炎です。20-30%で起きます。患者の50%に
睾丸の部分的な萎縮を認めますが不妊はまれ
です。また近年の研究によれば、突発性難聴の
約5～7%はムンプスによる不顕性感染の可能
性があることが示唆されています。

全国小児科定点医療機関からの定点医療機関あたり
流行性耳下腺炎患者年間年齢別発生報告数(2000-2006年)



定点小児科医療機関あたり流行性耳下腺炎患者年間発生報告数(人)

● ワクチンの効果は？

抗体陽転率は約90%

欧米では30年以上前から定期接種となっており、ムンプスは、ほぼ絶滅状態

● 副反応は？

発熱はない

軽度の耳下腺の腫れが2～3週間後に生じる（20人に1人）

無菌性髄膜炎（20万人に1人）